

## 第118回日展

### 第5科（書）特選授賞理由

題名 <b>万葉の四季</b>	作者名 <b>秋山英津子</b>	題名 <b>剔灯</b>	作者名 <b>角田大壤</b>
授賞理由	「寸松庵色紙」に見られる、かなの散らしの美を追った作品である。和歌一首を集団に分け、そのバランスを考え、隣り合う行との墨色変化を演出。さらに料紙の色にも考慮し、美しい景色を見事につくりあげている。		
邱象升詩	池永碧濤	八重さくら	中右万佐代
授賞理由	規模悠大に温潤で円熟の線条で墨量充分に厚味と深味ある線質で文字大小と疎密を考慮しながら絶妙に構築され、彼の実直な性格そのままの気持ちの落ち着く好作品である。		
アルカイック・スマイル	大崎雨萩	想ひ	西田 健
授賞理由	調和体作品として、漢字とかなどのバランスがよく整っている。また羊毛筆を駆使して、柔らかな線を表現し、加えて大らかで流れるような構成は、作品タイトルに通じる優しさや暖かさを醸し出している魅力ある逸品である。		
夙敏	佐川峰章	枯魚過河泣	蓮見光春
授賞理由	西周時代の古代文字に現代の感性を取り入れた制作技術は圧巻である。線の太細、白黒の対比、広狭のバランス、潤渴の変化など繊細な調和が巧みに組み込まれており、近代書芸術の真髄を体現した特選に相応しい作である。		
廓然無礙	田邊栖鳳	雪の花	湯澤 聰
授賞理由	禅語四文字を奇を衒うことなく美しい線性により表現した見事な作品である。唯一無の字を別体の「无」に置き換えることにより派生させた疏密の工夫は高く評価される。更に安定した刀法が強靭であることが羨ましい。		
精緻な筆致による鮮やかな線と墨氣は、作品に生命を吹き込む。下半にある渴筆が豊かな表情を生み出し、上半の白との均衡を保つ巧妙な構成となっている。この高度な書技と構成の発想は、独自の魅力と言える。			